



平成27年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ
代表者名 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ
(コード番号：9704 東証第1部)
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹
(TEL 03-3436-1860)

(訂正) 「平成24年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は平成24年5月14日に開示しました「平成24年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成27年3月20日付「社内調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」および平成27年4月30日付「『平成26年12月期 有価証券報告書の提出』および『過年度に係る有価証券報告書等および内部統制報告書の訂正報告書の提出』並びに『過年度に係る決算短信等の訂正』に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズ・グループ 上場取引所 東
コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹 (TEL) 03(3436)1860
四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	830	187.0	4	—	70	—	53	—
23年12月期第1四半期	289	1.7	△41	—	△1	—	△15	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 △4百万円(—%) 23年12月期第1四半期 △50百万円(—%)

	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
24年12月期第1四半期	円 銭 0.20	円 銭 —
23年12月期第1四半期	△0.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	12,024	8,554	70.7
23年12月期	12,098	8,557	70.3

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 8,497百万円 23年12月期 8,501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	当期純利益 円 銭
第2四半期(累計)	1,550	205.6	1	—	△46	—	△66	—	△0.27
通期	3,550	98.1	82	—	105	—	62	—	0.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	274,158,934株	23年12月期	274,158,934株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	156,086株	23年12月期	155,587株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	274,002,959株	23年12月期1Q	219,312,718株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. <u>継続企業の前提に関する重要事象等</u>	4
<u>4. 四半期連結財務諸表</u>	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災からの復興の動きに合わせ緩やかに持ち直し傾向が見られたものの、欧州金融危機の長期化や外国為替相場が引続き円高基調で推移するなど、依然として国内企業の業績悪化が懸念される状況が続きました。

当社グループにおきましては、宿泊事業において、昨年9月に当社系列ホテルに加わった守口ロイヤルパインズホテルを運営管理する株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪を前期に連結子会社化したこと等により、前年同四半期比で大幅な増収となりました。また、証券投資事業において、外国為替相場が、当第1四半期連結会計期間末にかけドル高へ転じたこと等から、前年同四半期比で増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は830百万円（前年同四半期比187.0%増）、営業利益は4百万円（前年同四半期は営業損失41百万円）となり、営業外収益に為替差益74百万円を計上したこと等により、経常利益は70百万円（前年同四半期は経常損失1百万円）、四半期純利益は53百万円（前年同四半期は四半期純損失15百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、当社宿泊部門における客室稼働率の改善および前期に株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪を連結子会社化したことが寄与し、売上高は611百万円（前年同四半期比508.2%増）と大幅な増加となりました。利益面では、震災直後の利用客数の落ち込みからは引続き回復基調にあり、震災前の損益水準を回復するには至らなかったものの、営業損失は、前年同四半期比9百万円改善し、14百万円となりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き適宜適切な賃貸家賃の見直しによる入居率の維持向上に努めた結果、売上高はほぼ前同四半期並みの70百万円（前年同四半期比1.6%減）となり、入退去に伴う募集経費の発生等により、営業利益は31百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、受注ベースでは好調に推移したものの完工の期ずれにより、売上高は94百万円（前年同四半期比11.9%減）となり、利益面では、保有資産に係る公租公課の発生等があり、営業損失は4百万円（前年同四半期は営業利益5百万円）となりました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、当社グループが保有・運用する香港ドル、人民元、米ドル建て資産等に係る為替差益が発生したことなどにより、営業利益は53百万円（前年同四半期比449.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、12,024百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.2%減少し、2,546百万円となりました。これは、現金及び預金が410百万円減少し、開発事業等支出金が11百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、9,478百万円となりました。これは、投資有価証券が327百万円、長期貸付金が77百万円増加したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、3,470百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、3,230百万円となりました。これは、買掛金が33百万円、未払金が28百万円、未払い法人税等が38百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、240百万円となりました。これは、長期借入金が14百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末とほぼ同じ8,554百万円となりました。これは、利益剰余金が53百万円増加した一方、為替換算調整勘定が60百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、現時点で平成24年2月13日に公表いたしました平成24年12月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

当第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは継続的に営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況を解消すべく、主に以下の内容の諸施策を継続的に実施しております。

① 宿泊事業

株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズおよび株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント野尻湖、株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪の3社を連結子会社化したことにより事業規模の拡大を図っております。また、平成23年12月7日に浅草ビスタホテルの不動産信託受益権の売買契約を締結し、平成24年1月10日に受益権の決済・引き渡しを行いました。取得したホテルはリニューアルを計画しており、リニューアル後には更なる売上高・利益貢献を目指してまいります。

② 住宅等不動産開発事業

所有している都内賃貸マンションは満室化を目標にコストの低減をはかり収益性を向上させてまいります。又、安定収入を得るために収益性の良い物件を取得すべく努めてまいります。

③ 霊園事業

新しい納骨堂の建設を行い、納骨堂の販売に伴う大幅な売上の増加を図ってまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,593,416	1,183,127
売掛金	202,812	146,073
有価証券	309,281	353,300
貯蔵品	37,222	19,032
開発事業等支出金	<u>520,482</u>	<u>508,751</u>
繰延税金資産	12,959	10,969
その他	331,938	328,925
貸倒引当金	<u>△4,070</u>	<u>△3,998</u>
流動資産合計	<u>3,004,042</u>	<u>2,546,183</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	310,162	310,480
車両運搬具（純額）	4,555	4,278
工具、器具及び備品（純額）	16,582	16,852
土地	1,555,520	1,555,520
住宅用賃貸不動産（純額）	<u>4,771,304</u>	<u>4,763,787</u>
有形固定資産合計	<u>6,658,124</u>	<u>6,650,918</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	226	219
ソフトウェア	1,962	1,626
のれん	<u>1,463,765</u>	<u>1,440,300</u>
電話加入権	<u>364</u>	<u>364</u>
無形固定資産合計	<u>1,471,318</u>	<u>1,447,510</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>518,659</u>	<u>845,752</u>
長期貸付金	435,870	513,351
その他	14,823	25,193
貸倒引当金	<u>△4,400</u>	<u>△4,200</u>
投資その他の資産合計	<u>964,953</u>	<u>1,380,097</u>
固定資産合計	<u>9,094,396</u>	<u>9,478,526</u>
資産合計	<u>12,098,439</u>	<u>12,024,709</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,048	112,035
1年内返済予定の長期借入金	2,432,921	2,407,808
未払金	463,774	435,200
未払費用	30,746	33,447
未払法人税等	62,868	23,934
賞与引当金	12,407	9,138
ポイント引当金	8,771	9,087
事務所移転費用引当金	4,000	4,000
その他	155,514	195,866
流動負債合計	<u>3,316,052</u>	<u>3,230,519</u>
固定負債		
長期借入金	148,471	163,463
退職給付引当金	2,979	3,043
長期預り保証金	33,301	32,117
繰延税金負債	1,587	2,820
その他	38,100	38,561
固定負債合計	<u>224,440</u>	<u>240,006</u>
負債合計	<u>3,540,492</u>	<u>3,470,525</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	<u>△8,045,763</u>	<u>△7,991,956</u>
自己株式	<u>△11,990</u>	<u>△12,001</u>
株主資本合計	<u>8,464,040</u>	<u>8,517,837</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,462	4,390
為替換算調整勘定	<u>35,216</u>	<u>△25,029</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>37,679</u>	<u>△20,638</u>
新株予約権	56,226	56,985
純資産合計	<u>8,557,946</u>	<u>8,554,183</u>
負債純資産合計	<u>12,098,439</u>	<u>12,024,709</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 1 月 1 日 至 平成23年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 3 月 31 日)
売上高	289,256	830,281
売上原価	<u>212,217</u>	<u>672,218</u>
売上総利益	<u>77,038</u>	<u>158,063</u>
販売費及び一般管理費	<u>118,581</u>	<u>153,242</u>
営業利益又は営業損失 (△)	<u>△41,543</u>	<u>4,821</u>
営業外収益		
受取利息	44	324
為替差益	48,191	74,628
持分法による投資利益	241	—
消費税等免税益	—	12,343
その他	2,492	2,421
営業外収益合計	<u>50,970</u>	<u>89,717</u>
営業外費用		
支払利息	10,611	10,971
持分法による投資損失	—	<u>13,161</u>
その他	569	241
営業外費用合計	<u>11,180</u>	<u>24,374</u>
経常利益又は経常損失 (△)	<u>△1,753</u>	<u>70,164</u>
特別利益		
受取補償金	—	2,814
新株予約権戻入益	—	1,997
特別利益合計	<u>—</u>	<u>4,812</u>
特別損失		
固定資産除却損	5	371
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,472	—
特別損失合計	<u>1,477</u>	<u>371</u>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	<u>△3,231</u>	<u>74,605</u>
法人税、住民税及び事業税	12,671	18,808
法人税等調整額	—	1,989
法人税等合計	<u>12,671</u>	<u>20,798</u>
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△15,903</u>	<u>53,807</u>
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	<u>△15,903</u>	<u>53,807</u>

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 1 月 1 日 至 平成23年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 3 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△15,903</u>	<u>53,807</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	428	1,927
為替換算調整勘定	<u>△34,743</u>	<u>△60,245</u>
その他の包括利益合計	<u>△34,315</u>	<u>△58,317</u>
四半期包括利益	<u>△50,218</u>	<u>△4,510</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△50,218</u>	<u>△4,510</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第 1 四半期連結累計期間(自 平成23年 1 月 1 日 至 平成23年 3 月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	100,525	71,319	107,589	9,821	289,256	—	289,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	100,526	71,319	107,589	9,821	289,256	—	289,256
セグメント利益又は損失(△)	△24,492	36,235	<u>5,797</u>	9,821	<u>27,362</u>	△68,905	<u>△41,543</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△68,905千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第 1 四半期連結累計期間(自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	611,363	70,170	94,756	53,991	830,281	—	830,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	611,363	70,170	94,756	53,991	830,281	—	830,281
セグメント利益又は損失(△)	△14,811	31,077	<u>△4,269</u>	53,991	<u>65,988</u>	△61,167	<u>4,821</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,167千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(訂正前)



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティ・グループ 上場取引所 東
コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹 (TEL) 03(3436)1860
四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	830	187.0	10	—	75	—	59	—
23年12月期第1四半期	289	1.7	△35	—	3	—	△10	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 657百万円 (132.1%) 23年12月期第1四半期 247百万円 (—%)

	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	0.22	—
23年12月期第1四半期	△0.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	17,615	14,144	80.0
23年12月期	17,026	13,486	78.9

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 14,087百万円 23年12月期 13,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	当期純利益 円 銭
第2四半期(累計)	1,550	205.6	1	—	△46	—	△66	—	△0.27
通期	3,550	98.1	82	—	105	—	62	—	0.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	274,158,934株	23年12月期	274,158,934株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	156,086株	23年12月期	155,587株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	274,002,959株	23年12月期1Q	219,312,718株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災からの復興の動きに合わせ緩やかに持ち直し傾向が見られたものの、欧州金融危機の長期化や外国為替相場が引続き円高基調で推移するなど、依然として国内企業の業績悪化が懸念される状況が続きました。

当社グループにおきましては、宿泊事業において、昨年9月に当社系列ホテルに加わった守口ロイヤルパインズホテルを運営管理する株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪を前期に連結子会社化したこと等により、前年同四半期比で大幅な増収となりました。また、証券投資事業において、外国為替相場が、当第1四半期連結会計期間末にかけドル高へ転じたこと等から、前年同四半期比で増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は830百万円（前年同四半期比187.0%増）、営業利益は10百万円（前年同四半期は営業損失35百万円）となり、営業外収益に為替差益74百万円を計上したこと等により、経常利益は75百万円（前年同四半期比1,896.2%増）、四半期純利益は59百万円（前年同四半期は四半期純損失10百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、当社宿泊部門における客室稼働率の改善および前期に株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪を連結子会社化したことが寄与し、売上高は611百万円（前年同四半期比508.2%増）と大幅な増加となりました。利益面では、震災直後の利用客数の落ち込みからは引続き回復基調にあり、震災前の損益水準を回復するには至らなかったものの、営業損失は、前年同四半期比9百万円改善し、14百万円となりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き適宜適切な賃貸家賃の見直しによる入居率の維持向上に努めた結果、売上高はほぼ前同四半期並みの70百万円（前年同四半期比1.6%減）となり、入退去に伴う募集経費の発生等により、営業利益は31百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、受注ベースでは好調に推移したものの完工の期ずれにより、売上高は94百万円（前年同四半期比11.9%減）となり、利益面では、保有資産に係る公租公課の発生等があったものの、営業利益は1百万円（前年同四半期比87.2%減）と、引続き利益を確保することができました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、当社グループが保有・運用する香港ドル、人民元、米ドル建て資産等に係る為替差益が発生したことなどにより、営業利益は53百万円（前年同四半期比449.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、17,615百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、9,575百万円となりました。これは、現金及び預金が410百万円減少し、開発事業等支出金が627百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%増加し、8,040百万円となりました。これは、投資有価証券が327百万円、長期貸付金が77百万円増加したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、3,470百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、3,230百万円となりました。これは、買掛金が33百万円、未払金が28百万円、未払い法人税等が38百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、240百万円となりました。これは、長期借入金が14百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、14,144百万円となりました。これは、利益剰余金が59百万円、為替換算調整勘定が596百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、現時点で平成24年2月13日に公表いたしました平成24年12月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,593,416	1,183,127
売掛金	202,812	146,073
有価証券	309,281	353,300
貯蔵品	37,222	19,032
開発事業等支出金	<u>6,910,599</u>	<u>7,537,628</u>
繰延税金資産	12,959	10,969
その他	331,938	328,925
貸倒引当金	<u>△4,070</u>	<u>△3,998</u>
流動資産合計	<u>9,394,159</u>	<u>9,575,060</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	310,162	310,480
車両運搬具（純額）	4,555	4,278
工具、器具及び備品（純額）	16,582	16,852
土地	1,555,520	1,555,520
住宅用賃貸不動産（純額）	<u>4,771,304</u>	<u>4,763,787</u>
有形固定資産合計	<u>6,658,124</u>	<u>6,650,918</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	226	219
ソフトウェア	1,962	1,626
電話加入権	364	364
無形固定資産合計	<u>7,552</u>	<u>7,210</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>520,399</u>	<u>847,543</u>
長期貸付金	435,870	513,351
その他	14,823	25,193
貸倒引当金	<u>△4,400</u>	<u>△4,200</u>
投資その他の資産合計	<u>966,693</u>	<u>1,381,888</u>
固定資産合計	<u>7,632,371</u>	<u>8,040,016</u>
資産合計	<u>17,026,530</u>	<u>17,615,077</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,048	112,035
1年内返済予定の長期借入金	2,432,921	2,407,808
未払金	463,774	435,200
未払費用	30,746	33,447
未払法人税等	62,868	23,934
賞与引当金	12,407	9,138
ポイント引当金	8,771	9,087
事務所移転費用引当金	4,000	4,000
その他	155,514	195,866
流動負債合計	<u>3,316,052</u>	<u>3,230,519</u>
固定負債		
長期借入金	148,471	163,463
退職給付引当金	2,979	3,043
長期預り保証金	33,301	32,117
繰延税金負債	1,587	2,820
その他	38,100	38,561
固定負債合計	<u>224,440</u>	<u>240,006</u>
負債合計	<u>3,540,492</u>	<u>3,470,525</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	<u>△177,722</u>	<u>△118,136</u>
自己株式	<u>△11,990</u>	<u>△12,001</u>
株主資本合計	<u>16,332,081</u>	<u>16,391,657</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,462	4,390
為替換算調整勘定	<u>△2,904,733</u>	<u>△2,308,481</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△2,902,271</u>	<u>△2,304,091</u>
新株予約権	56,226	56,985
純資産合計	<u>13,486,037</u>	<u>14,144,551</u>
負債純資産合計	<u>17,026,530</u>	<u>17,615,077</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 1 月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
売上高	289,256	830,281
売上原価	<u>230,123</u>	<u>689,955</u>
売上総利益	<u>59,132</u>	<u>140,325</u>
販売費及び一般管理費	<u>95,117</u>	<u>129,777</u>
営業利益又は営業損失(△)	<u>△35,984</u>	<u>10,548</u>
営業外収益		
受取利息	44	324
為替差益	48,191	74,628
持分法による投資利益	241	—
消費税等免税益	—	12,343
その他	2,492	2,421
営業外収益合計	<u>50,970</u>	<u>89,717</u>
営業外費用		
支払利息	10,611	10,971
持分法による投資損失	—	<u>13,109</u>
その他	569	241
営業外費用合計	<u>11,180</u>	<u>24,322</u>
経常利益	<u>3,804</u>	<u>75,943</u>
特別利益		
受取補償金	—	2,814
新株予約権戻入益	—	1,997
特別利益合計	<u>—</u>	<u>4,812</u>
特別損失		
固定資産除却損	5	371
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,472	—
特別損失合計	<u>1,477</u>	<u>371</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>2,326</u>	<u>80,384</u>
法人税、住民税及び事業税	12,671	18,808
法人税等調整額	—	1,989
法人税等合計	<u>12,671</u>	<u>20,798</u>
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△10,345</u>	<u>59,586</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△10,345</u>	<u>59,586</u>

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 1 月 1 日 至 平成23年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 3 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△10,345</u>	<u>59,586</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	428	1,927
為替換算調整勘定	<u>257,253</u>	<u>596,252</u>
その他の包括利益合計	<u>257,682</u>	<u>598,180</u>
四半期包括利益	<u>247,337</u>	<u>657,766</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>247,337</u>	<u>657,766</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	100,525	71,319	107,589	9,821	289,256	—	289,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	100,526	71,319	107,589	9,821	289,256	—	289,256
セグメント利益又は損失(△)	△24,492	36,235	<u>11,355</u>	9,821	<u>32,920</u>	△68,905	<u>△35,984</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△68,905千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	611,363	70,170	94,756	53,991	830,281	—	830,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	611,363	70,170	94,756	53,991	830,281	—	830,281
セグメント利益又は損失(△)	△14,811	31,077	<u>1,458</u>	53,991	<u>71,715</u>	△61,167	<u>10,548</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,167千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。